

事前評価日	平成24年6月1日	No.	101314
-------	-----------	-----	--------

基 本 事 項	事務事業名	市民意識調査事業			所管部署名	政策室 企画担当			
	事業期間	平成16年度 ~ 未設定	事業年齢	8歳	事前評価責任者	中村 詠子	連絡先	048 - 982 - 9445	
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	根拠法令等	市民意識調査実施要領				
	事務事業の性質	毎年繰り返し			執行方法	直営			
	基本 計画 関係	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無		
		まちづくり目標	まちづくりの推進のために			歳出 予算 科目	事業名	市民意識調査事業	
		施策	広聴・広報の充実			会計区分	一般会計		
		施策小項目	広聴の充実			款	総務費		
	第1期実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			項	総務管理費			
	個別計画の 位置付け	計画名	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			目	企画費		
事 目	対 象 (誰を、何を)	(直接の対象)20歳以上の市民 (最終的な対象)市が行う事務事業			手 段 (どのような事業 を行うのか)	吉川市の住み心地、まちづくりへの意識などについてアンケート調査を実施・集計し、傾向を把握する。			
		対象年齢	20	99					年齢20歳以上
	意 図 (対象にどのよ うな状態に なっほしい のか)	市民ニーズの把握や有効性の検証が行われ、より効果的な事務事業の実施が図られる。			事務事業を取巻く 環境の変化・実 施上の課題	市民の行政に対するサービスの需要は、多様化していることから、市民の市政に対する意見を収集することは必要である。			
類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無								
業務プロセス(No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	0130901	市民意識調査						
事業関連ホームページ	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<a href="http://www.city.yoshikawa.saitama.jp/10,883,67.html">http://www.city.yoshikawa.saitama.jp/10,883,67.html</a>							

区分	区 分	平成22年度	平成23年度	平成24年度			平成25年度	平成26年度	
		決算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)	当初(千円)	計画(千円)	
投 入 コ ス ト	① 直接事業費	260	257	274	265	8	274	274	
	② 人件費	416	1,398	1,407	1,900	503	1,900	1,900	
		正職員直接投入人員	0.05人	0.16人	0.16人	0.22人	0.06人	0.22人	0.22人
		正職員間接投入人員		0.01人	0.01人	0.01人	0人	0.01人	0.01人
	③ 間接経費(加算)								
④ コスト対象外(除外)									
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	676	1,655	1,681	2,165	510	2,174	2,174		
資 源	⑥ 国庫支出金								
	国補助率								
	⑦ 県支出金								
	県補助率								
	⑧ 市債								
⑨ その他									
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)									
	受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	676	1,655	1,681	2,165	510	2,174	2,174	
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独				

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	計画(見込)値	計画(見込)値
対 象 指 標	① 総人口	人	66,868	67,780	68,560	69,430	70,480
	毎年4月1日現在の総人口・増加傾向にある。		66,702	67,525	68,174		
活 動 指 標	① 市民意識調査の配布人数	人	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500
	吉川市の住民基本台帳から無作為に抽出した標本数		1,500	1,500	1,500		
	② 市民意識調査の実施回数	回	1	1	1	1	1
	市民意識調査を1年間に実施した回数		1	1	1		
成 果 指 標	① 市民意識調査の回収率	%	50	50	50	50	50
	市民意識調査を1年間に実施した回数		51.0	58.3	56.9		
	② 市民意識調査結果の指標活用数	件	16	16	20	20	20
	市民意識調査項目を行政評価の指標として活用している数		16	16	20		

業	区分	評価指標名(上段) / 指標の性質(下段)		平成22年度	平成23年度	平成24年度	成果・効率性向上度のポジション
		目標達成度	① 市民意識調査の配布人数	増加することが良いとされる指標	100.00%	100.00%	
成果	① 市民意識調査の回収率	増加することが良いとされる指標	102.00%	116.60%	113.80%		
績	結果	単位	トータルコスト × 1,000円	単位	平成23年度	平成24年度	↓ コストが増加している
		① 市民意識調査の配布人数	円/人	1,103	1,444		
		単位当たり経費変動率(当該年度単位コスト - 前年度単位コスト) ÷ 前年度単位コスト)		30.83%			
評	主	事業目的					
		市民の意向(満足度・重要度)や意識を調査・把握し広く市政運営を行う上での基礎資料を作成するとともに、ISO9001供給者適合宣言によるシステム要求事項8.2.1(顧客満足度)の監視を行うことを目的とする。					
価	取	調査項目	ア 回答者の属性 イ ご自身の幸福感 ウ 吉川市の住み心地 エ あなたの現状と認識 オ 市の取り組みについての満足度 カ 市の取り組みについての重要度 キ 特集(防犯事業の参加、防犯意識、食育、市ホームページ) ク 吉川市全体の取り組みに対する満足度				
		調査時期	平成24年10月4日から19日まで				
組	組	調査方法	郵送配布・郵送回収				
		調査対象	母集団 市内在住の20歳以上の男女 標本数 1,500人 抽出方法 層化等間隔無作為抽出				
		回収結果	有効回収数(率) 853人(56.9%)				

官	公共性		実施主体の妥当性		行政関与の妥当性	受益者負担の妥当性
	民	提供の対象者の偏りもない、突出した必需性も見当たらないサービス	政策的意決定を必要とし、かつ行政上の専門知識を必要とするサービス	高		
役						
割						
分						
担						
評						
価						

事	区分	評価	評価判断理由(特記事項)	
			業	妥当性
評	性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	市のサービスの受益者である市民を対象とすること、アンケート調査によって市民意見を把握し集計する手段は妥当であると判断する。
		意 図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	市民満足度を高めるためには、市の施策に対する意見、要望、評価などの実態を把握することが必要であると考えられることから、その意図は妥当であると判断する。
価	有効性	成果向上の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	成果指標の回収率56.9%は、目標値である50%を上回っており、回収率をこれ以上に高める余地は少ないものと判断する。この事務事業は、市民の市の施策に対する意識や要望の実態を把握する有効な方法であり、上位施策への貢献度は高いと判断する。
		上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	
組	効率性	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	直接事業費については、標本抽出の経費、郵送経費の見直しを行っており、コスト削減の余地はない。また、人件費については集計作業の効率化を図ることで改善の余地が見込まれるが、回収率の成果向上を図ると作業量が増大することとなり、効率性を高めるための余地は少ない。
		受益者負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	この事務事業において、市民から受益者負担を求めるものではないことから、適正化の余地はない。

改	改革	これまでの改善(検討)状況と内容	<input checked="" type="checkbox"/> 改善実施済 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 改善未実施
		課題と今後の改善策	調査項目の表現や項目の設定数を見直し、アンケートに取り組みやすいものに見直しを行った。また、郵送回収以外にも、ホームページのアンケートサービスを活用して、回答できる方法を平成20年度まで実施した。また、平成23年度から、提出期限時期に合わせて、アンケート対象者全員に対し、お礼状兼督促状を発送することで、回答率の向上を図った。また、平成23年度から、提出期限時期に合わせて、アンケート対象者全員に対し、お礼状兼督促状を発送することで、回答率の向上を図った。また、平成23年度から、提出期限時期に合わせて、アンケート対象者全員に対し、お礼状兼督促状を発送することで、回答率の向上を図った。

事	業	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了
		「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化
		「今後の方針」の説明(計画内容等)	

一次評価日	平成25年5月10日	一次評価責任者	中村 詠子
-------	------------	---------	-------

二	次	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了
		「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化
		説明	

二次評価日	平成25年6月26日
-------	------------